

週報

令和 7 年 3 月 14 日

2024~2025年度 No.24

2024-25年度 国際ロータリーのテーマ

Rotary



国際ロータリー会長

ステファニーA.アーチック



ロータリーの
マジック

プログラム

S A A 西上裕一郎君

☆点 鐘

☆ロータリーソング斉唱

「我らの生業」

☆四つのテスト斉唱

☆食 事 懇 談

☆会長の時間

☆幹 事 報 告

☆委員会報告

①親睦委員会

・スマイルボックス報告

☆報 告 事 項

「福江RC杯五島市中学校軟式野球大会報告」

青少年奉仕委員会 副委員長 西上裕一郎君

☆部 内 卓 話

「福江空港の現状と今後について」

宮脇 秀至君

☆点 鐘

現 在 会 員						前々回の欠席者 (2/21)							
30名						9名							
本 日	出席	15名	欠席	11名		免除(a)欠席	3名	出席率	57.69%				
						免除(b)欠席	1名						
前々回	出席	15名	MU	0名		免除(a)MU	3名	修正率	62.50%				
						免除(b)MU	3名						
月別 出席率%	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	
	本年度	78.04	71.13	69.88	65.22	57.70	64.55	52.95	65.86				
	前年度	77.26	83.66	87.66	84.78	89.40	90.22	92.55	95.45	88.38	88.46	89.64	75.41

例会場
例 会
事務所
カンパーナホテル TEL(0959)72-8111
金曜日(12時30分~13時30分)
長崎県五島市末広町8-4
福江商工会議所内 TEL(0959)72-3108

会 長 片 山 雅 文
副 会 長 柳 田 靖 夫
幹 事 有 川 真 史
雑誌:会報委員長 市 村 篤

会長の時間

直前会長 平村 和弘君

本日は、片山会長と柳田副会長が所用で欠席されていますので、代理の会長の時間を始めさせていただきます。

昨年の今頃、民間の宇宙ロケット「カイロス」が打ち上げに失敗したことを会長の時間でお話いたしました。カイロスロケットは、民間宇宙事業会社スペースワンが開発したものです。スペースワン株式会社は、小型衛星用の宇宙輸送サービスの開発・事業化を行う企業です。キャノン電子株式会社と、株式会社IHIエアロスペース、清水建設株式会社、株式会社日本政策投資銀行の4社により設立されました。

2号機が和歌山県にあるロケットの発射場から、昨年の12月18日午前打ち上げられましたが、上昇中にトラブルが発生し打ち上げは失敗しました。開発したスペースワンは、ロケットの1段目にある燃焼ガスを噴き出す「ノズル」と呼ばれる部分の動きに異常があり、打ち上げからおよそ3分後に自動で飛行を中断する措置を取ったと説明しました。

2号機には5つの小型衛星が搭載されていて、軌道への投入に成功すれば民間企業単独の打ち上げとしては国内で初めてとなるはずでした。

会見で、スペースワンの豊田正和社長は「衛星を軌道に投入させることができず、皆様におわびを申し上げます。可能なかぎりスピードを重視し、次のステップに向けて対応したい」と話していました。

前回もお話した通り、宇宙ロケットの開発は当然ながら簡単なものではなく、初打ち上げでの成功例はほぼ無く、3～4回目まではそう簡単ではないそうです。民間会社による宇宙事業、本当に大変なことだとは思いますが、成功を祈念するとともに応援していきたいと思います。以上で、代理の会長の時間を終わります。

幹事報告

幹事 有川 真史君

【当クラブ関係】

- ※3月7日に開催した第9回定例理事会の報告
(1) 福江R C会費見直し調査アンケート集計結果について、幹事の有川より説明。

アンケート結果…30名中 賛成20名／反対・どちらとも言えない4名／未回答6名

協議の結果、まずは、経費特別委員会を発足して徹底的に経費削減について話し合う。その後、会費の見直しについては検討する。

※連絡事項

3月8日(土) 福江R C杯五島市中学校軟式野球大会：五島市中央公園野球場

※例年通り、福江軟式野球連盟に50,000円寄付。

また、福江ロータリークラブ第9回理事会議事録を作成しましたのでご確認ください。

1. 次週3月21日(金)の例会は、クラブ定款第7条第1節d項により休会と致しますので、次回例会は3月28日(金)となります。
2. 明日の3月15日(土)に第3回会長幹事会が、観光ビルはたなかにて開催されます。会長は出張のため、福江からは幹事の私のみが出席して参ります。
3. 3月22日(土)の13時から、60周年記念植樹が白良ヶ浜万葉公園にて開催されますので、ご参加される方は軍手やスコップ等のご準備をお願い致します。

【地区関係】

1. 長崎東ロータリークラブより「例会変更のお知らせ」が届いております。

委員会報告

出席報告

- ◆ 3月14日(欠席者メイクアップ)
張本 民雄君
- ◆ 3月14日(免除(a)欠席者)
植松 郁雄君 中村 博義君 橋本 武敏君
- ◆ 3月14日(免除(b)欠席者)
吉田 泰之君
- ◆ 3月14日欠席者
片山 雅文君 神之浦文彦君 小畑 和男君
才津 喜彦君 坂井 成光君 柳田 靖夫君
森 正明君 市村 篤史君 野崎 薫君
井上 貴之君 村田 修君

親睦委員会

スマイル報告

- ◇宮脇 秀至君 本日は卓話をさせていただきます。ご清聴よろしく願いいたします。
- ◇有川 真史君 宮脇秀至さん、本日の卓話よろしく願います。
- ◇中村 栄治君 //
- ◇戸田 博之君 //
- ◇山里 一郎君 //
- ◇平村 和弘君 //
- ◇松岡 孝博君 //
- ◇山下 克己君 //
- ◇西上裕一郎君 //
- ◇寺澤 信義君 //
- ◇山口 裕之君 //
- ◇浅野 謙君 //
- ◇清瀧 誠司君 早 退。
- ◇山下 実君 //

合計 14,000円
 通算合計 415,000円

報告事項

福江RC杯 五島市中学校軟式野球大会報告

青年奉仕委員会 副委員長 西上裕一郎君



3月8日土曜日午前9時より、五島市中央公園野球場にて令和6年度福江RC杯五島市中学校軟式野球大会が行われました。出場チームは、富江の地域スポーツクラブ「五島ベースボールクラブ」と「岐宿中」の合同チームと「福江中」の2チームで、試合数も1試合のみです。

当日の天候は曇、気温9℃、東北東の風1メートルで、少し肌寒い日となりました。

開会式は行われず、始球式は片山会長不在の為、柳田青少年奉仕委員長により行われました。

試合は序盤、両チームとも出塁はするものの、後がなかなか続かず2回まで「2対1」で福江中がリードしていました。そしてようやく3回、福江中がヒットや相手のエラーなどで4点を入れるなどし、中盤の4回までで福江中が「7対2」と点差が開きました。その後、合同チームも5回に3点を入れるなど粘りを見せましたが、3回の4点が響き6回までで「10対6」になり、大会規定の時間制限により最終インニングの7回は行われず、福江中の勝利となりました。

試合を見た感想として、両チームの力の差はあまりありませんでしたが、わずかながら福江中が力が上に思え、結果もそれを反映しているように感じました。全体のチーム力をみると、両チームの投手はエースと2番手3番手の力の差が大きく、勝利した福江中でも2番手がボークやフォアボールを連発して5回に3点を取られるなど、人数の少ないチームの課題がみえていました。守備の際には、1塁に送球したままで他のランナーを忘れ、隙をつかれて点を取られるなど経験・練習の不足がみられました。

また、数年前まで一部チームで監督から怒号がとび、選手が委縮しながらプレイしていた場面がありましたが、そのような部分は改善され、選手が伸び伸びとプレイをしていたのではないかと思います。

地域人口の減少と共に子供の数も減り、今年度はとうとう学校単位ではなく、地域スポーツクラブが合同チームで参加する事となりました。このままでは数年後、野球大会が成立しない事態に陥るのではないかと危惧されます。そのような日がいつかは来ってしまうのですが、できる限り先の未来となるように願いたいです。

【試合結果】

	1	2	3	4	5	6	計
福江中	1	1	4	1	2	1	10
五島BBC・岐宿中	1	0	1	0	3	1	6



部 内 卓 話

「福江空港の現状と今後について」

宮脇 秀至君



本日は私が勤める福江空港の現状と課題、そして私が考える将来像についてお話しさせていただきます。

まずは現状についてです。

〈現状〉

定期便 就航率

◇乗降客数

	乗降客数	提供 座席数	利用率	チャーター (FDA)
2019年度	160,542人	244,259席	65.7%	33便/1,265名
2022年度	153,937人	235,508席	65.4%	50便/2,948名
2023年度	173,110人	245,027席	70.6%	92便/5,090名
2024年度	150,683人	208,537席	72.3%	51便/2,759名

※2024年度は1月末まで

◇就航便数

	計画 便数	就航 便数	就航率	欠航要因			
				天候	機材	その他	合計
2019年度	5,102便	4,904便	96.1%	120	78	0	198
2022年度	3,710便	3,507便	94.5%	170	31	2	203
2023年度	4,088便	3,826便	93.6%	192	36	34	262
2024年度	3,692便	3,420便	92.6%	172	98	2	272

※2024年度は1月末まで 2023年度は73%が天候CNL

今年度見通し（見込）

乗降客数 176,000名 提供座席数 250,000席

利用率 70.2% 前年度増

「まち・ひと・しごと創造推進会議（R 6.12.19）」では、五島市の目標として空路利用者数（人）2029（令和11）年度、目標値191,000としていますので、約2万人増加させなくては達成できない状況と言えます。

さて、ここで福江空港が他の空港と比べると、ランキングでどこに位置づけられるのかをご説明します。

国内乗降者ランキング

福江空港は74空港中60位

※対馬53位 25万人（福江とは8万人以上の差）

1位 羽田、2位 成田、3位 関空

15位 長崎298万人

同じ2000メートル滑走路離島空港

17位 石垣264万人

また、福江空港の空港特性についてもご説明いたします。

空港施設 特徴

◇鬼岳316mの中腹標高76mに位置して気流が不

安定

◇S38空港開設 S63 2000m滑走路延長

H8 ANKが関西線

H14 ORCが伊丹線

関西圏の定期便いずれも短期間で運休

H26 「五島つばき空港」愛称

H29 管制業務 福岡FSCへ

◇2000m×45m

ターニングパッド・タクシーWay 無し

B767以上は利用できない

◇ローカライザー2基 配備 ※対馬は1基

ここまでが、福江空港の現状となります。そこで、これからは空港の課題についてお話しします

〈課題〉

空港機能強化と2次交通（空港アクセス）改善

就航率：年間262便欠航、うち192便の悪天候欠航への改善。グライドパス設置。

カテゴリー7：B737-800（168席）を運行可能となった。修学旅行などチャーター便の誘致。

特定重要拠点空港：国内5空港に指定。長崎、北九州、宮崎、那覇、福江。

給油施設：現在往復燃料を搭載。給油施設があれば、中部以北空港からのダイレクト運航が可能。

無料駐車場：約260台。多客期は満車で利用不可。場外駐車も目立つ。

2次交通：乗降客の約3割が島民の方の利用。7割が県外からの来訪者。

この7割のアクセス、タクシー・バス⇒レンタカー、カーシェアへのシフト。

これらの課題を補完していく先の未来に、どのような福江空港が待っているのでしょうか。

〈将来像〉

定期便Jet×ヘリ×PBジェット

⇒多機能化と地域支援

滑走路強度化：B787-800以上の定期便航空機に耐えられる滑走路の強度。補強工事。

ヘリ活用：富裕層遊覧ビジネスと2地点間輸送。防災ヘリ、プライベートJET受け入れ促進。

民間航空機だけでなく、小回りが利いてコストが低いヘリコプター、富裕層を対象にしたプライベートジェット、物流を担当するドローンなど多岐の輸送機能の拠点として福江空港があります。

また、観光や富裕層ビジネスだけではなく、島民の生活に即した医療や、防災上の重要拠点になることが、福江空港の将来として求められるのではないかと思います。